

整理番号: DYG01050

発送番号: 344471 発送日: 平成20年 6月17日

1 期限

08.8.18

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2003-104567
起案日 平成20年 6月11日
特許庁審査官 中田 剛史 2951 5E00
特許出願人代理人 山口 邦夫 様
適用条文 第17条の2第3項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

理由(イ) 平成17年10月20日付けでした手続補正は、下記の点で願書に最初に添付した明細書、特許請求の範囲又は図面に記載した事項の範囲内においてしたものではないから、特許法第17条の2第3項に規定する要件を満たしていない。

A 理由(ロ) この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由(イ)について:

平成17年10月20日付手続補正書の【請求項2】には、「前記複数頁分の画像情報に基づいて同一の頁に画像を形成する指示を行う際に、(中略)前記修正頁部分の前記画像情報を含む前記同一の頁に画像形成される前記画像情報を前記変換手段により前記印刷情報に変換させ、変換後の印刷情報を前記画像形成装置へ出力する」と記載されている。かかる記載は、例えば、両面印刷と2upの集約印刷が指定されている場合に、修正頁を含む片面の画像情報2頁分だけを変換して画像形成装置に出力し、その裏側の面に含まれる画像情報2頁分は印刷しないものも含むものである。しかしながら、出願当初の明細書等には、記録用紙単位で出力することは記載されているが、上記のような、片面に2頁分の画像情報を含み両面印刷を行う場合に、修正頁を含む片面のみの印刷を行うことは記載されていない。

整理番号: DYG01050 発送番号: 344471 発送日: 平成20年 6月17日 2

また【請求項5】も同様である。

なお、当該補正がなされた明細書、特許請求の範囲又は図面における請求項2、5に記載した事項は、願書に最初に添付した明細書、特許請求の範囲又は図面に記載した事項の範囲内にないことが明らかであるから、当該請求項に係る発明については新規性、進歩性等の特許要件についての審査を行っていない。

B

理由 (ロ) について:

請求項 1, 3, 4, 6

引用文献等 1-5

備考:

引用文献1には、印刷装置と文書作成装置からなるシステムであって、印刷の指示がなされると、更新前の文書と更新後の文書とを比較して、異なると判定された頁番号を検出し、かかる頁番号の頁に対して印刷処理を行うシステム及びそのプログラムが、実質的に記載されている。

ところで、印刷処理として印刷用にデータの変換を行うことは広く行われている技術である（例えば、引用文献2（特に【0020】）を参照）から、かかる技術を引用文献1に記載された発明に適用することは、当業者であれば容易に想到し得たことである。

また、1枚の記録用紙に複数の頁が含まれる印刷設定がなされた場合、ある頁の印刷が指示されたときはその頁を含む記録用紙に含まれる全ての頁の印刷を行う技術は周知である（例えば、引用文献3-5を参照）から、かかる周知技術を引用文献1に記載された発明に適用することは、当業者であれば容易に想到し得たことである。

C

引用文献等一覧

1. 特開平3-176765号公報
2. 特開平7-182319号公報
3. 特開2002-63012号公報
4. 特開平11-157160号公報
5. 特開平8-324031号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC G06F3/12

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がござい

整理番号: DYG01050 発送番号: 344471 発送日: 平成20年 6月17日 3/E

ましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部インターフェイス 中田剛史

TEL. 03 (3581) 1101 内線3519

FAX. 03 (3580) 6907